



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年10月31日

上場会社名 日糧製パン株式会社 上場取引所 札
 コード番号 2218 URL <http://www.nichiryo-pan.co.jp>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）吉田 勝彦
 問合せ先責任者（役職名）取締役（氏名）北川 由香里（TEL）011-851-8188
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成30年3月期第2四半期の業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	8,759	△0.6	135	△36.9	160	△28.9	63	△55.4
29年3月期第2四半期	8,810	△1.0	214	△11.3	225	△6.6	142	△3.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	30.44	—
29年3月期第2四半期	68.22	—

※平成29年10月1日付で普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	13,186	4,520	34.3
29年3月期	12,782	4,487	35.1

（参考）自己資本 30年3月期第2四半期 4,520百万円 29年3月期 4,487百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	2.00	2.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期（予想）	—	—	—	15.00	15.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成29年10月1日付で、普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い平成30年3月期（予想）の1株当たり配当金につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細は「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,800	0.9	330	△14.3	330	△17.4	140	△42.2	66.84

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※業績予想の修正につきましては、本日公表いたしました「平成30年3月期第2四半期累計期間業績予想値と決算値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、平成29年10月1日付で、普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い平成30年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細は「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

30年3月期2Q	2,103,948株	29年3月期	2,103,948株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

30年3月期2Q	9,546株	29年3月期	9,098株
----------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年3月期2Q	2,094,667株	29年3月期2Q	2,095,182株
----------	------------	----------	------------

※平成29年10月1日付で、普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数につきましては、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

平成29年6月29日開催の第83期定時株主総会の決議により、平成29年10月1日付で普通株式10株を1株に株式併合いたしました。なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の配当予想及び、業績予想は以下のとおりであります。

1. 平成30年3月期の配当予想 1株当たり配当金 期末 1円50銭
2. 平成30年3月期の業績予想 1株当たり当期純利益 通期 6円68銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期貸借対照表	P. 3
(2) 四半期損益計算書	P. 5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 6
(継続企業の前提に関する注記)	P. 6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 6
(セグメント情報等)	P. 6
3. 補足情報	P. 6
販売実績	P. 6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(平成29年4月1日～平成29年9月30日)におけるわが国経済は、緩やかな回復基調で推移しましたが、個人消費につきましては力強さを欠くものとなりました。当業界におきましては、消費者の生活防衛意識が根強い市場環境で激しい販売競争が続くなか、人手不足に伴う人件費の上昇や燃料・物流コスト上昇の影響もあり、厳しい経営環境となりました。

このような情勢下におきまして、当社は「おいしく、北海道らしく。」の方針のもと、「日糧ベスト70」を中心とした主力製品の品質向上に継続して取り組み、安全・安心でお客様に喜ばれる高品質な製品の提供に努めました。「絹艶」、「北の国のベーカリー」、「ラブラブサンド」など主力シリーズ製品の品質訴求や品揃え強化を推進するとともに、消費者キャンペーンを活用して売上の確保に努めました。また、生産、販売、管理の各部門における業務のさらなる見直しや効率化を進め、継続して経営基盤の強化へ取り組んでまいりました。

製品別の売上状況につきましては、食パン部門は、“しっとり、やわらか”な食感を訴求して引き続き主力の「絹艶」、「絹艶北海道」の拡販に努めたほか、バラエティ食パンの新製品「あんブレッド」、「牛乳ブレッド」が寄与し、売上は順調に推移しました。菓子パン部門は、コッペパン類やドーナツ類が伸び悩み、前年同期の売上を下回りましたが、「イチゴジャムとなめらかホイップ」などの新製品投入により「北の国のベーカリー」シリーズの品揃え強化をはかったほか、季節感を取り入れた製品やコンビニエンスストア向け製品の強化により売上の確保に努めました。和菓子部門は、「積み団子」などのロングライフ製品や北海道産原料を使用した「福かまど」シリーズは堅調に推移しましたが、大福類や串団子製品が伸び悩み前年同期を下回りました。洋菓子部門は、チルドデザート「きょうのドルチェ」シリーズや「中札内産たまごのロールケーキ」などの新製品投入により売上の回復に努めましたが、コンビニエンスストア向け製品の売上減少の影響が大きく、前年同期の売上を下回りました。調理パン・米飯部門は、「絹艶サンド」の品揃え強化やコンビニエンスストアおよび量販店向け調理パンが大きく伸長するとともに、量販店向けの米飯製品の取扱拡大により好調に推移し、前年同期の売上を大幅に上回りました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高は8,759百万円(対前年同期比99.4%)となりました。利益面では業務の見直しや効率化に努めましたが、人件費・物流費などのコスト上昇を吸収するには至らず、営業利益は135百万円(対前年同期比63.1%)、経常利益は160百万円(対前年同期比71.1%)となりました。四半期純利益は、次年度稼働予定であるデリカ新工場建築に伴う既存建物の解体・撤去などの費用を特別損失に計上したことにより63百万円(対前年同期比44.6%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における資産合計は13,186百万円で前事業年度末に対し404百万円増加しました。流動資産は4,414百万円で主に現金及び預金が200百万円減少し、売掛金が338百万円増加した結果、前事業年度末に対し145百万円増加しました。固定資産は8,771百万円でその他有形固定資産に含まれる建設仮勘定が326百万円計上され、有形固定資産が266百万円増加した結果、前事業年度末に対し258百万円の増加となりました。負債合計は8,666百万円で主に支払手形及び買掛金が96百万円、長期借入金(1年内返済予定含む)が252百万円増加した結果、前事業年度末に対し371百万円増加しました。純資産合計は4,520百万円で前事業年度末に対し32百万円増加しました。

この結果、当第2四半期会計期間末における自己資本比率は34.3%、1株当たりの純資産は215円81銭となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、わが国経済は、緩やかな回復基調が続くことが期待されますが、当業界におきましては、消費者の節約志向が根強く販売競争が続くなか人手不足に伴う人件費の上昇に加え原材料価格・燃料価格の上昇など、厳しい経営環境が継続することが予測されます。

このような情勢下におきまして、当社は、「おいしく、北海道らしく。」の方針のもと、「日糧ベスト70」を中心に主力製品のさらなる品質向上を推進し、安全・安心でお客様に喜ばれる高品質な製品開発に努めてまいります。食パン「絹艶」、菓子パン「北の国のベーカリー」、和菓子「福かまど」など主力シリーズ製品の取扱拡大に注力するとともに、簡便性・健康増進などの付加価値を高めた製品や、季節の素材・北海道産原料を活用した製品など、お客様の多様なニーズを捉えた製品の開発・育成へ取り組み、生産・販売の連携強化による製品施策・営業戦略の展開により売上拡大をはかり、各部門における一層の業務効率化を継続して推し進め、業績向上に向けて努力してまいります。

なお、平成30年3月期通期に関する業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の業績動向を考慮し、平成29年5月12日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表いたしました「平成30年3月期第2四半期累計期間業績予想値と決算値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,895,773	1,695,681
受取手形及び売掛金	1,988,304	2,326,773
商品及び製品	41,461	38,436
仕掛品	41,394	48,961
原材料及び貯蔵品	140,526	156,953
繰延税金資産	83,376	79,664
その他	80,128	70,013
貸倒引当金	△2,039	△1,902
流動資産合計	4,268,925	4,414,582
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,449,574	1,441,021
機械及び装置(純額)	1,326,196	1,279,212
土地	4,662,405	4,662,405
その他(純額)	205,141	526,864
有形固定資産合計	7,643,318	7,909,503
無形固定資産		
その他	112,564	97,025
無形固定資産合計	112,564	97,025
投資その他の資産		
投資有価証券	545,970	569,563
投資不動産(純額)	74,938	74,910
繰延税金資産	86,682	75,245
その他	49,980	45,648
貸倒引当金	△23	△1
投資その他の資産合計	757,548	765,366
固定資産合計	8,513,431	8,771,895
資産合計	12,782,356	13,186,478

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,969,053	2,065,421
短期借入金	750,000	750,000
1年内返済予定の長期借入金	493,392	512,932
未払法人税等	112,339	62,128
賞与引当金	215,537	216,277
その他	1,038,570	1,108,506
流動負債合計	4,578,892	4,715,265
固定負債		
長期借入金	919,192	1,152,456
再評価に係る繰延税金負債	1,190,579	1,190,579
退職給付引当金	1,536,962	1,546,100
役員退職慰労引当金	67,623	60,010
その他	1,800	2,050
固定負債合計	3,716,156	3,951,195
負債合計	8,295,049	8,666,461
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,051,974	1,051,974
利益剰余金	546,526	568,381
自己株式	△11,490	△12,483
株主資本合計	1,587,009	1,607,871
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	205,956	217,804
土地再評価差額金	2,694,340	2,694,340
評価・換算差額等合計	2,900,297	2,912,144
純資産合計	4,487,306	4,520,016
負債純資産合計	12,782,356	13,186,478

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	8,810,228	8,759,252
売上原価	6,253,560	6,209,995
売上総利益	2,556,667	2,549,256
販売費及び一般管理費		
販売費	1,948,818	1,997,106
一般管理費	393,728	416,954
販売費及び一般管理費合計	2,342,547	2,414,061
営業利益	214,119	135,194
営業外収益		
受取利息	12	8
受取配当金	6,854	14,667
受取賃貸料	5,437	5,455
受取保険金	9,109	13,084
その他	4,122	4,162
営業外収益合計	25,535	37,378
営業外費用		
支払利息	13,713	11,982
その他	0	0
営業外費用合計	13,713	11,982
経常利益	225,942	160,590
特別利益		
固定資産売却益	1,416	1,911
投資有価証券売却益	-	90
特別利益合計	1,416	2,001
特別損失		
固定資産除却損	5,878	55,603
減損損失	35	27
特別損失合計	5,913	55,630
税引前四半期純利益	221,445	106,961
法人税等	78,517	43,209
四半期純利益	142,927	63,752

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、食品関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. 補足情報

販売実績

販売実績を事業部門等別に示すと、次のとおりであります。

事業部門等の名称	前第2四半期累計期間(千円)	当第2四半期累計期間(千円)	前年同期比(%)
食パン	1,258,448	1,291,711	102.64
菓子パン	3,397,745	3,226,227	94.95
和菓子	1,807,919	1,740,973	96.30
洋菓子	396,315	374,581	94.52
調理パン・米飯類	1,695,016	1,905,621	112.42
その他(仕入商品)	254,783	220,136	86.40
合計	8,810,228	8,759,252	99.42

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。